

TOMIC  
No.39  
MEMOIR

●門久義先生と川内原子力発電所を訪ねて

## この美しい自然と豊かな営みを守るために



豊かな緑と水に恵まれた川内原子力発電所



各施設・設備のすべてのデータを24時間体制でチェックする中央制御室。表示パネルや運転員の仕事ぶりを丹念に見て回る



2号機の原子炉建屋内部で、説明に熱心に聞き入る

●川内原子力発電所概要

項目	位置	用地面積	電気出力	燃料			営業運転開始
				原子炉型式	種別	装荷量	
1号機	鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山	約145万平方メートル(埋立面積約10万平方メートルを含む)	89万kW	軽水炉・軽水冷却加圧水型(PWR)	低濃縮(約4%)二酸化ウラン	約72トン	昭和59年7月4日
2号機	1765番地3		1号機と同じ	1号機と同じ	1号機と同じ	1号機と同じ	昭和60年11月28日

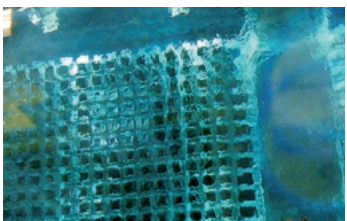
TOMIC  
No.40  
MEMOIR

●百島則幸先生と玄海原子力発電所を訪ねて

## 海と緑の発電所に、プルサーマルの風が吹く



玄海原子力発電所の前で、「エネルギーの新しい風を感じますね」



燃料貯蔵プールを上から覗きこむ



発電所で毎年7月に行われる「ゆづり祭り」

●玄海原子力発電所概要

ユニット	1号機	2号機	3号機	4号機
所在地	佐賀県東松浦郡玄海町今村(佐賀崎の先端)			
敷地面積	約87万平方メートル(ヤードーム13個分)			
電気出力	55万9千kW	55万9千kW	118万kW	118万kW
運転開始	昭和50年10月	昭和56年3月	平成6年3月	平成9年7月
型式	加圧水型軽水炉(PWR)			

TOMIC  
No.41  
MEMOIR

●東海発電所を訪ねて

## 廃止措置が開く原子力発電の新しい扉



説明を聞きながら巨大な熱交換器を見上げる



廃止措置が進む東海発電所



中央制御室にて

●廃止措置工事のスケジュール

年(度)	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
原子炉内燃料取出																								
燃料搬出																								
放射性廃棄物の処理処分																								
原子炉領域安全貯蔵																								
原子炉領域解体撤去																								
原子炉領域以外の撤去																								
放射性廃棄物の処理処分																								
実績																								
計画																								

## 入場無料 中学・高校生による エネルギー問題 ディベート コンテスト

来る10月2日(土)・3日(日)、九州内の中学6校と高校6校から、総勢約170名が集い、エネルギー問題に関するディベートコンテストが行われる。

このコンテストは、「日本政府が炭素税を導入することは、望ましい」という論題に対し、各校が賛否各々の立場で論陣を張り、

いかに論理的かつ要点を突いた論議を戦わずかを競うもの。論戦を通じ、次代を担う中高生にエネルギー問題について理解を深めてもらうことを目的としている。入場料は無料。中高生の熱いディベートをぜひご覧いただきたい。



場所 福岡工業大学(福岡市東区 和白東3-30-1)

10月2日(土)13:00~18:30

・百島則幸 九州大学教授による基調講演  
・中学・高校生チームによるディベート

10月3日(日)9:30~12:15

・中学の部(決勝)、高校の部(決勝)、シンポジウム

主催 九州経済産業局、国公私立大コンソーシアム福岡、全国教室ディベート連盟九州支部、九州経済連合会

協力 福岡工業大学

後援 各県教育委員会等、主要新聞社等

参加校 (中学校) 附属小倉中学/久留米大附設中学/東明館中学 青雲中学/大分大附属中学/宮崎西高附属中学 (高校) 大牟田学園大牟田高校/東明館高校/青雲高校 大分上野丘高校/宮崎西高校/志布志高校

## 環境問題がよくわかる! 入門書のご紹介



「知らないと怖い環境問題」

著者: 理学博士 大塚 徳勝氏  
発行: 共立出版株式会社  
定価: 1,785円(税込)

本書は、放射線物理学や環境科学の専門家、東海大学教授や当懇話会のエネルギー問題研究委員会委員も

務めた著者が2005年に刊行し、「日本図書館協会選定図書」として好評を得た『知っておきたい環境問題』の改訂・改題版です。森林破壊、廃棄物処理、温暖化など様々な環境問題について最新データを用いて説くとともに、環境教育の副読本としても活用できるよう配慮されています。

地球規模で広がり年々深刻化する環境問題。私たちの身のまわりで今何が起きて、どんな問題になっているのかを、科学と社会学の面からわかりやすく説明し、その解決策について述べた環境問題の入門書です。とかく難解になりがちな環境問題を正しく理解するための好著としてお勧めです。

## 平成22年度 教職員 エネルギーセミナー 開催

このセミナーは、文部科学省、福岡県・鹿児島県教育委員会の後援を受け、教職員の方々を対象に福岡市と鹿児島市で毎年開催しており、今年で25回目。

近年、ゲリラ豪雨の頻発など身の回りで「なにかおかしい」と感じる事が多くなっており、エネルギー・環境問題を生徒に正しく伝えていきたいとの参加者の熱意が感じられた。講演テーマは、「学びと生活がつながる授業づくり」、「エネルギーから考える環境教育」。

文明の発達とCO<sub>2</sub>濃度の変化、エネルギー資源の状況などがわかりやすく説明され、自然放射線を見るための霧箱工作や発電体験など、生徒に教えたくなる実習も盛り込まれ大変好評を得た。

エネルギー施設の見学会では、発電所の姿や安全への取組み、石油地下備蓄の有様など、初めて見る現場の姿を興味深く見学した。



と き: 7月27日(火)~30日(金)  
講 演: 福岡市/福岡ガーデンパレス、鹿児島市/ホテルルクステン鹿児島  
見学会: 玄海原子力発電所、川内原子力発電所及び串木野国家石油地下備蓄基地  
参加者: 小中高の先生方のべ86名



TOMIC  
九エネ懇のエネルギー&エコロジー情報誌  
とおみっく  
発行日 平成22年8月24日  
(社)九州経済連合会  
発行所 九州エネルギー問題懇話会  
〒810-0001  
福岡市中央区天神一丁目10-24号天神セントラルプレイス3階  
TEL092-714-2319 FAX092-714-2678

まっすぐに見つめてくる。  
澄んだ眼が。  
大人の駆け引きや打算を見抜き、  
真実を受け止める無垢なところが。  
答えなければならない、応えてあげたい。  
だからこそ、正しいことを正しく  
誤りは、誤りと  
勇気を出して、誠実に話していこう。  
そうすれば、きっと思いは伝わる。  
いつか、思いは明日に繋がる。  
私たちはそのことを信じて  
そのことにこの国の未来を託して  
まっすぐな視線で見つめ返していく。

NO.42 2010

●このパンフレットは再生紙を使用しています。

